

“鮮度一番！”

No.178

～女性と男性が支え合う社会をつくる～

CONTENTS

- 1～2 / 忘れない！東日本大震災 第2回
2 / ひとことコラム
3～5 / 運営委員会で話し合われたこと
5～6 / ちょこっと能楽話 第12回(最終会)
6 / 新会員紹介 編集後記

忘れない！ 東日本大震災!! (5回連載の2回目)

菊池 恵子

避難の始まりー転々として

自宅には泊まれないので、近くの工業高校へ行きました。そこにはたくさんの人たちが所狭しと集まっています。息子の友だちは「ぼくの家流されてないんだ」とケロッと言います。その姿を見ると言葉が出ませんでした。それぞれが場所を確保して本部の指示を待つ間、余震がくる度に「キャ～」の声。食糧などの支給がありましたが、「本部に取りに来てください」という放送が聞こえにくい状況でした。先ずは子どもとお年寄りからです。一人で何本もペットボトルを抱えてしまう子ども。「みんなで分けようね」と言っても「これはぼくのだから」と。危機の中では本性が出ます。切なかったです。

それからの長い夜の始まり。メールも電話もつながりにくい状態。そして、電源を探して、充電の順番待ちです。入口には行方不明者の名前が張り出され、家族の行方を探して避難所巡りをする人がいました。知り合いも旦那さんの行方がわからないと、入口で茫然とする姿は忘れられません。余震は続き、情報も入らず、眠れぬまま時間が止まったような長い夜でした。後で考えるとぞっとするのですが、あの地震が真夜中であつたらどうなっていたでしょう。家具は倒れ、ガラスも割れ、電気も消え、パニック状態で、近所の人たちも我先に逃げ出してけが人が続出したでしょう。我が家は家族5人が一緒に避難できてよかったと心から思いました。

翌日は避難所を出ていく人たちがいました。原発に異変があつたのでしょうか。なるべく外に出ないようにと放送があり、また、夕方になると「原発が爆発する恐れがありますのでこの体育館は閉鎖します」ということで、より北の方角の小学校、中学校数カ所への案内があり、みんな一斉に車を走らせました。同じ方向に向かっているの道路は渋滞して、走れる道を探しながら、暗くて陥没している所が見えないので運転も慎重になります。この大移動でどの学校もいっぱい、車は校庭に入れず道路で待っている状態です。私たちは学校に向かっていると思っていたら通過していて、結局妹の家に行き、世話になることにしました。

翌朝、必要なものを買出しに行くと、自動販売機には何もなく、コンビニも商品がなく閉店していました。スーパーを探し、最低限必要なものを買うことができました。体育館前を通ると、中に入れなかったのか、車で寝ただろうと思われる人たちがたくさんいました。

妹の家には 2 泊しました。炊き出しをしている中、私たち家族分の食事の準備をするのですが、何でも無い日に行くのであれば、お互い良い雰囲気なのでしょう。母は「娘の所でも数日もいれば気を使う。避難所に行った方がいい…」と。14 日の午後から親戚の家へ移動。あちこち道路は亀裂が入っていて通行止めの所もあり、どこを走ればいいのか、不安で不安で無事に辿り着くことだけ考えていました。

両親は自宅を見てくると行ったきり、夕方になっても戻って来ません。私が自宅に向かうとすれ違う車もなく、人もいない。誰もいない町は寂しいというより怖かったです。自宅まで車が入れず、途中で車を止めて行きました。すると父が近所から水をもらい、家に運んでいるではありませんか（この時点で自宅を離れない人が数人いました）。家の片づけで泊まるというのです。いくら戻ろうと言っても無駄でした。「携帯はいつも通じるようにしてよ」と言って、私は仕事道具であるシザー（はさみ）類を持ち出しました。恩師によく言われたのは「もし何か災害があった時には、シザーを持って逃げなさい。シザー一丁あればどこへ行っても仕事はできるから」と。まさかその言葉が活きるとは…。感慨深いものがあります。

夜中、寢床に入ったところ、おじたちに「原発が爆発するから支度して！ お父さんたちに連絡して来てもらって」と言われ、すぐに連絡しました。携帯電話があつてよかったと痛感しました。灯りもない、水も出ないところで、懐中電灯を頼りにしていたようで、無事に戻って安心しました。真夜中、子どもたちを起こし、私たちは妹の家へ、おじたちは娘の所へと向かいました。別れ際に「絶対に生きて会おうね」と。数日後、おじたちは娘の仕事の都合で横浜まで行ったようです。

夜中に妹たちを起こすのは申し訳ないと思い、車の中で朝が来るのを待ちました。エアコンをつけるとガソリンが減ってしまうので、子どもたちと寄り添って寒さをこらえました。空が明るくなり、家に電気がついたのを確認して家に入れてもらいました。「出たり入ったりするならおとなしくここにいればいいのに」と言われて返す言葉もなく、家の暖かさが身にしみました。

それから友人のメールがあり「今どこにいる？ 私たちは親戚の所にいたけど、いずらくなって出て、コンビニにいたの。そこで生涯学習センターが受け入れているから…と聞いて、行ってみたら、畳の部屋で暖かいものも食べられるし、お風呂も入れるよ」とのこと。妹宅と目と鼻の先で「もし受け入れてくれるなら行きたい」と、聞いてもらうと大丈夫ということで、妹宅を出てそこへ行きました。友人とみんな元気でよかったと喜び合いました。夜は近所の方たちの歌や踊りで和みました。

・・・ひとことコラム・・・

摩訶不思議

M. H

自分の力では成し遂げられなくて、他の力で達成できた不可思議な体験だった。

一昨年あたりから飲酒すると泥酔、自分を見失う状態。古希を過ぎての大酒、これでは体を壊して病気になると、禁酒に挑んだ。しかし、半月であえなく討死の繰り返しが続いていた。10月のある日、昼過ぎから気分よく飲み始めて、夕方の7時ころから先の記憶がまったくなくなっていた。気がついたとき、見たこともない風景の中、道路をふらふら歩いていた。時間もわからず、場所もわからず、たださまよい歩き続け、一軒のコンビニに辿り着いたのは朝方の4時過ぎ。タクシーで家に帰り、目が覚めるとあごと頬が痛い。腕と手先、足、体に打撲と擦り傷、転倒したようで覚えがない。タクシー会社に乗車場所を確認する。信じられない、どうして、なぜ、絶句する。「ああ、生きていてよかった」との思いが頭をよぎった。ほっと吐息が漏れた。事故にも遭わず、大きな怪我もなく、何か目に見えない他力に見守られ、導かれた気がする。これまでのうぬぼれと自己満足の生活、ごまかしの人生を送ってきた自分の真の姿が明らかにされ、この先どう生きていくか考えさせられた。なぜか気分はさわやかであった。生まれて与えられた命の時間は平等に80年。どのように使い、人生を生きていくかはその人の自由。一日一日使い切ってなくなるといわれる。残り少ない時間だが、使い方によっては長くなる。生かされた、救われた、他力による気づき、何か新しい力が湧いてくる。残された時間は人のために。 感謝。

運営委員会で話し合われたこと

日 時 平成26年1月8日(水) (AM9:30~11:30)

場 所 男女共同参画センター

新年あけましておめでとうございます。

いつも皆様から暖かいご支援、ご協力を頂き大変感謝しております。

今、私たちは、それぞれが心配や難儀なことを抱えてはいますが、だからこそ「私たちの声」を発し続けることが大切だと思っています。

どうぞ皆様の原稿を“鮮度一番！”までお寄せくださいますようお願いいたします。

次回の運営委員会は、2月5日(水)9:30~男女共同参画センターです。

どなたでもおいでください。

1. 新年を迎えて

新年を迎えて今年の抱負を語り合う間もなく、ワイドショーのネタ(大沢樹生の実子ではなかった)で大盛り上がりしました。大きな声では言えないけれど、昔からよくある話なんじゃないのお~とか。

いえいえ三条女性会議は、今年も「品格」を持って事にあたっていく一年にしたいと思いますので、どうぞヨロシクお願いいたします。

2. 映画「じんじん」について

映画「じんじん」のチケットが、届きました。前売り券は、一般、1,000円(当日1,500円)、小中高生は、当日のみ800円です。当会への割り当ては、50枚です。皆様のご協力をお願いいたします。俳優大地康雄の描く<絵本の力>×親子の絆にふれて、あたたかさややさしい気持ちを「じんじん」と感じてみませんか?

〔上映スケジュール〕

- **1月31日(金)** 中央公民館大ホール
①10:30~ ②14:00~★ ③19:00~
- **2月1日(土)** 中央公民館大ホール
①10:30~ ②14:00~★
- **2月2日(日)** 教育センター(栄庁舎)ホール
10:00~ 1回のみ
- **2月8日(土)**
10:00~ 下田公民館 多目的ホール
17:00~ サンファーム 多目的交流研修室
(★日本語字幕つき上映です)

お問い合わせは実行委員 西方さんまで(TEL090-7837-9790 FAX38-6663)

3.

もろもろの予定について

■第9回ひとひとフォーラム 防災と男女共同参画

第1部 **1月26日(日)** 午後1:30~3:45

今、求められる自主防災活動~男女で築く緊急避難体制~

- ・講師 金井昌信さん(群馬大学理工学研究院環境創生部門准教授)
- ・地域の方のお話 堀善一さん(西四日町自主防災会長)

第2部 **2月15日(土)** 午後1:30~3:45

なぜ防災・減災・復興に女性の視点が必要か

- ・講師 田端八重子さん(もりおか女性センター長)
- ・地域の方のお話 堂坂幸子さん(元民生委員)

(会場) どちらも三条東公民館 多目的ホール1

■新潟経営大学公開講座

◆パート1 **1月27日(月)** 午後6:30~8:00

◆パート2 **2月3日(月)** 午後6:30~8:00

「日本人のコミュニケーション~批判的思考力を高める~」

- ・講師 市島清貴さん(新潟経営大学経営情報学部教授)
- ・内容 国際化、異文化した現代社会で、日本人に必要なコミュニケーション能力とは何かを探る
- ・会場 新潟経営大学(加茂市希望ヶ丘2909-2)

※運営委員の米田、早川、安室、丸山、野崎が聴講します。
ご一緒しませんか?

■働く女性のための健康講座

~ワーク・ライフ・バランスとヘルスケア~

2月8日(土) 午後1:30~3:30

- ・講師 林はるみさん(新潟大学男女共同参画室准教授)
- ・会場 ソレイユ三条 音楽室兼集会室(3階)

4.

各種審議会等について

安室さんと西方さんから報告がありました。

三条市介護保険運営議会 計画運営部会報告

安室 久恵

第3回計画運営部会が12月16日（月）、市役所第2庁舎会議室で開かれた。

議題

・高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画 平成25年度達成状況について（9月末時点）

質疑・応答、報告があり、全体は承認された。

その他、11月26日に開かれた地域包括支援センター運営部会と同じく第6期（平成27～29年）介護保険事業計画策定に向けて、国の見直しの動向について説明があった。

第2回三条市男女共同参画審議会の報告

西方久子

11月25日、第2回三条市男女共同参画審議会が市役所で開かれた。

この日の議題は、「25年度男女共同参画推進プラン実施報告（中間報告）について」①推進プランの計画変更事業（6事業）についての説明②9月末までに実施された事業（59項目中8項目）について、1事業毎に実施内容の工夫や目標値・アンケート結果を参考に4段階評価で行った。7項目がA評価、1項目（市職員のセクハラ防止啓発）については、現時点では評価できないと次回への継続となった。

また、事業アンケート内容の検討「ひとひとフォーラム」は例年通り秋に開催して欲しいとの意見・希望があった。

5.

その他

さんじょう白熱教室（代表米田美智子）は、1月20日のみ会場を中央公民館へ変更となりました。1月のテーマは、「子どもたちの育ち 今とこれから」です。

また、2月15日（土）午前10：00～、現役の教師・保護者を迎えて同じテーマ「子どもたちの育ち 今とこれから」のシンポジウムを東公民館行いますのでおいでください。

ちよこっと能楽話 第12回

「山姥」 川瀬弓子



12回お付き合いいただきありがとうございました今回で最後です。

最後に女性会議のみなさまにお届けしたい謡曲は「山姥」です。

ツレで登場する百萬は都で「山姥のクセ舞い」を舞い評判の遊女です。シテとして「百萬」という作品にも登場しています。「百萬」は母子物で最後はハッピーエンドです。当時の有名人だったのでしょか？

ある時、信濃の善光寺参りを思い立ち北陸路から山越に信濃に入ろうとしたところ、上路という難所で日が暮れてしまいます。そこへ年配の女が登場一夜の宿を申し出ます。実は、自分は山姥であるが都で評判の「山姥のクセ舞い」を観たいと言い置き姿を消します。

後半は山姥の装束で登場、上は「山道」という白地に波形の線が入った摺箔を着、腰帯も「白地山道」です。下は濃い色目の半切をつけます。最後に上に羽織る厚板を「壺折」という形でまとめます。面は「山姥」白頭をかぶります。ちょうど落合恵子さんのヘアっぽいです。

そして謡います「そもそも山姥は生所も知らず宿もなし～略～しかれば人間にあらずして」と。お茶目なところもあります「さて人間に遊ぶこと～」木樵の荷物を持ってあげ月夜を里まで送ることもあり、機織り女の糸紬も助けます、が人の眼には見えないので「鬼」といわれているのです。さらに「本物の山巡りの舞いを見せるから都に帰り世語りにしてほしい、いやいやこれは妄執か？」として美しい詞章の山巡りの舞いが始まります「春は梢に咲くかと待ちし、花を尋ねて山巡り、秋はさやけき陰を尋ねて、月見る方にと山巡り、冬は冴え行く時雨の雲の、雪を誘いて山巡り」しかし「輪廻を離れぬことができず妄執の雲の塵が積もり山姥となるのだ」と言い置き。峯にかけり谷に響き、あれよあれよの山巡りをし行方も知らずとなりけり、とおさまります。

さて宿題としていた紙上実技講習をしてみましょうか？立つこと、歩くこと、二つやってみましょう。

まず立つこと、何も持たず両足裏をしっかりと大地につけて立ってみてください。膝は少し緩め「く」の字です。臍下三寸丹田に力を込め、お尻を天に向ける気持ち、背骨から後ろ首に紐を通し天からつり下がっている感じを意識し、胃を前に出し、胸を開き、あごは引き、眼はまっすぐ遠くを見ます。両脇の下に生卵を挟んでいる感じ、両腕はわんぐりと少し前におくが車引きのように出しすぎない、両手は軽く握り、右手には扇を持ちますがギュッと握らない、小指薬指に力を込め、親指人差し指中指は遊びます。口は結び語る時謡う時のみ、呼吸は鼻から静かに自然体で。

立つ姿が決まり呼吸が整ったら、歩いてみましょう。右足に重心をしっかりとかけ、左足そ一つと全体で足の長さ分前に出します、かかとは床から離さずつま先が少し浮きますがしっかりと着地、それが一足です。次の二足目、左足に重心をかけ、右足かかと毎全体に足に長さ分だけ前につま先が浮き静かに着地、三足目、一足目と同じです。このように一足一足歩きます。腰から上は動きません。慣れてきたら、一足二足三足としっかりと歩き、四、五、六、とリズムに乗り七で両足そろえてみましょう。

結びに、伝統文化評論家岩下尚史氏の言葉をご紹介します「古典芸能を知りたいと思ったらお稽古事を始めるのが一番」謡いの世界はマンツーマンです。師匠の真似をすることから始めます。「山姥」の如く妄執を離れ、ただ一筋に「真似」をすることの清々しさをお伝えできれば幸せです。

最終回なので長くなってしまいました。お許しください。本当に長々とおつきあいいただき感謝申し上げます。私自身大変勉強になりました。

新入会員さんの紹介です！

古川 真穂さん

初めまして、森の仲間です。

私たちは、占い、アロマ、癒し、デトックス、無添加健康食品など、心と体を癒して元気にするメニューをそろえています。また、1月14日から1か月間、三条市にあるみんくるさんで出店します。占い、アロマなど、癒しのメニューも盛りだくさんです！ぜひお越しください。

編集後記：

厳しい冷え込みにスケート場のようになってしまった通りで、孫と一緒に初滑り…「おばあちゃん大丈夫？」に、思わずすがりついてしまった自分に苦笑いでした。腰をさすりながら仕上げた平成26年初荷の鮮度一番お届けします。どうぞ隅から隅までお読みください。(原)

編集発行：三条女性会議・代表 野崎ミチコ

連絡先：三条市田島2丁目12-12 Tel 32-3667 FAX 32-3679

ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>